

日本生体医工学会「Young Investigator's Award」で最優秀賞を受賞

資生堂
ら開発研究
所の土田克彦
研究員は、第
60回日本生体
医工学会(2
021年6月
15~17日)に
て、「極微弱
光計測技術を
応用した皮膚
酸化ストレス
の非侵襲的評
価」(東北工
業大学との共
同研究)とい
うテーマで発
表し、「日本
生体医工学会
Young
Invest
igato
に設立された。



土田研究員

研究では、生体から自発的に発生する目には見えない極微弱光(バイオフォトン(UPE))の計測技術に着目し、UPE計測が皮膚の酸化ストレス評価に有用であることとを示した。また、UPEが皮膚から発光するメカニズムの一端を解明した。さらに、顔全体という広範囲でUPEを可視化することに成功し、顔面の酸化ストレスには部位差があり、皮膚性状と研究では、生体から自発的に発生する目には見えない極微弱光(バイオフォトン(UPE))の計測技術に着目し、UPE計測が皮膚の酸化ストレス評価に有用であることとを示した。また、UPEが皮膚から発光するメカニズムの一端を解明した。さらに、顔全体という広範囲でUPEを可視化することに成功し、顔面の酸化ストレスには部位差があり、皮膚性状と

VC60

日本美容皮膚科学会総会・学術大会で優秀演題賞を受賞

ビタミンC60バイオリサーチではこのほど、第39回日本美容皮膚科学会総会・学術大会において、

同社が美用化に向けて開発を進めている新規化粧品原料でフェアリー化合物と呼ばれる2-aza

antihine(AOH)の有効性および安全性評価研究結果に関する発表を行い、優秀演題賞を受賞した。

AOHは、2010年に静岡大学・河岸洋和教授がフェアリーリングを形成するキノコの種類であるコムラサキシメジの培養液から、芝草の成長を促進させる物質「2-アザヒポキサンチン(AHX)」を発見したことがきっかけとなり、その後、芝草の成長を抑制するイミダゾール4-カルボキシアミド(ICA)やAHXの代謝物としてAOHが発見された。

DNAマイクロアレイ解析により、AOHの皮膚に対する有効性を検証することが明らかとなった。

また、ヒト効果効能試験(臨床試験)を実施したところ、0.1%AOHを8週間塗布することにより、角層水分量が増加。さらに、皮膚からの水分蒸散量を示す指標であるTEWLが統計学的有意に減少することが明らかとなった。



エムズサイエンス 代表取締役

山口 真氏



分自身が成長し続けるのはもちろん、社員をよく見ることが心がけています。『数年後こうしたい、だから今これをやる必要がある』といったことを伝え、決して業務が流れ作業にならないよう、何のためにその業務に取り組むのかを常に説明するようにしています。また、社員に対し、常に未来を明示していくことも重要です。

エムズサイエンスの山口真代表取締役は、理科の教師として勤めた後、通販メーカーやOEMを経験し、35歳で起業した。

その後、自社製品の美白洗顔がヒットし、従業員もオフィスも拡大していった。自社ブランド「ル・ソイル」は炭酸美容というアプローチで、理論と安全性を重視したスキンケアを展開している。ユーザー数の拡大とともにラインナップも充実し、クロス販

売による顧客ロイヤリティの向上につながっているという。さらに、通販だけでなくOEMも展開しており、事業としての幅を広げている。トップとしては、自ら考える『思考力』を

「通販会社においては、クレーム対応の最終責任を務めたが、他部門と連携しながら事前に十分な告知を行うことや、一貫した対応を行うことでクレームを激減させた。この経験は現在にも活きている」(山口氏)

当初は資金も商品もない状態だったというが、起業に至るまでに幅広い経験や人脈を培ったことで、商品開発のコンサルとして声がかかるようになった。

重要なのは社員をよく見ること
ベストな方法導く思考力を養う

ONE BY KOSÉ

ONE BY KOSÉ THE WRINKLESS Wrinkle Repair Serum

効能認可 シワ改善 & 美白

次世代型シワ改善美容液

未来を変えるシワ改善ケア「ザ リンクレス S」、誕生。

新発売 ONE BY KOSÉ ザ リンクレス S [医薬部外品] 20g/30g ※ブランド内において・メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぎます。

ブランドサイト kose.co.jp/onebykose/ [PC/スマートフォン] [ワンバイコーゼ](#) 検索 お問い合わせ先 コーゼお客様相談室 ☎ 0120-526-311 (9:00~17:00/土・日・祝日を除く)